

# 月刊反トマホーク通信 No. 6

86. 4. 10

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎03(498)6095

## 反トマホーク 世界同時行動デー



この日世界の海は反核でつながる

### ◆3月に入港した原潜

1日(佐世保)プレマートン(ロス級)／  
4日(横須賀)ボギー(スタージョン級)／  
5日(横須賀)パーミット(スレッシャー級)  
／12日(横須賀)プランジャー(スレッシャー級)  
／16日(横須賀)プレマートンそして29日(横須賀)フラッシャー(スレッシャー級)の6隻でした。

◆空母ミッドウエーが佐世保と横須賀に入港  
半年かけての大改修が始まります。現地では  
監視や抗議の行動。冬眠する間もなかったト  
マ喰い虫たち、元気です。(編集部)

◆春風によってホット・ニュース。この夏か  
秋にも予定されていた英国核艦隊のニュージ  
ーランドへの寄港が取止めになった模様です  
。計画が発表されるやいなや反核運動がとつ  
た素早く、きっぱりとした行動が事態を決め  
た最大の力であったことは間違いない。とは  
いえ「リムパック」参加を中心とした英国核  
艦隊の「大航海」(その名も大きく「グロー  
バル86」ときました)は中止になったわけ  
ではなく、オーストラリア、太平洋諸国、極東  
への訪問計画は生きています。「本当の非核  
」をめざす人々にとってこれはどのような意  
味を持つのか?いかに向合うのか、に今号で  
は焦点を当ててみました。



## あなたも全国運動の会員に

### ●維持会員(月間会費)

団体 1口 2000円  
個人 1口 1000円

### ●参加会員(月間会費)

団体 1口 1000円  
個人 1口 500円

### ●通信会員

年間2000円

## 視点

## NZの日本化?

イギリス艦隊・太平洋ミシジョンの意味

梅林宏道  
(「全国運動」代表)

別記事にある通り、今年のリムパック・環太平洋統合演習には初めてイギリス艦隊が参加する。インビンシブルと同級の軽空母イラストリアス率いる七隻であり、アオテアロア平和運動のN・ハーガー氏によれば、うち六隻が核能力をもつ。演習参加後、イギリス艦隊は、太平洋各国を歴訪する。最終的にオーストラリアに寄るとい以外に、寄港先は明らかにされていないが、日本、ニュージーランドに寄港して、NZの反核政策をゆさぶるミシジョンを帯びている可能性が強い。そこで、私たちにどうしてイギリス艦隊太平洋ミシジョンのもつ意味は何かを考えてみたい。

まず第一に、非核政策における「日本方式」が、現在世界の反核運動に多大の影響を与えている。つまり、イギリス艦隊はまず日本に寄港した後にNZに寄港するか、同種の核艦船を二手に分けて日本とNZにほぼ同時期に入港させるかして、「日本が受け入れた艦船をなぜNZは

拒否するのか」として、ロンギ政権の非核政策のかたくなさを印象づけ、その切り崩しに使用される可能性がある。

現在、NZでは非核法案の国会審議が進行しており、六月〜八月の成立を期していると言われる。その法案の最大のポイントは、艦船の入港の許可に当たっては、諮問委員会が勧告をし首相が判断を下すと言うものであるが、そのテスト・ケースが米艦船ではなくイギリス艦船になる可能性が強い。アメリカ艦船ブキャナン拒否をひきがねに具体化していったこれまでの経過や、NZが女王様の国として国民の中にイギリスへの特別な感情があることを考えると、ロンギ政権にとっては、アメリカの場合よりも厄介な課題を突きつけられることになる。そこに中曽根が援護射撃をしようというわけである。まさに、レーガン・サッチャー・中曽根の陰謀である。

NZの反核運動は、先手をとって「イギリス艦隊が非核政策を試すためにやってくる」と宣言

伝を開始し寄港反対運動に乗り出している。

第二は、イギリス核艦船の日本への入港問題は日本の反核運動にまたとないチャンスを与えている点を見逃すわけにゆかない。ここには、核問題が安保の保護のない裸の問題として現われるからである。

従来、日本政府は安保の事前協議制を隠れ蓑にして核疑惑艦の核チェックを怠ってきた。つまり、アメリカから日米安保条約による事前協議の申し入れがない限り核の持ち込みはありえない、と言って核艦船の入港を許してきたのである。

横須賀市や神奈川県への対応も同様である。日本政府の安保・事前協議論を逃げ口上にして、自治体の責任を回避してやるのが許された。しかし、イギリス艦隊に事前協議制はない。核疑惑艦の核チェックをそれ自身のテーマとしてやらなければ入港を許可する明分はないのである。逆に日本政府は、従来のように米艦船について、核可能(nuclear capable)

ble)と核積載(nuclear capable)とは異なると主張し続けたいと思うのなら、イギリスの核可能艦が核積載でないことを立証しなければならない立場に立たされる。

以上の記述から明らかなように、イギリス核艦船の日本、NZへの寄港問題は、レーガン、サッチャー、中曽根にとっても大きな賭けである。日本の反核世論、NZの反核世論の反撃にあって挫折するようなことがあれば、将来に禍根を残すことになる。逆にうまくやれば、NZの非核の「日本化」は半ば成功ということになるだろう。核疑惑艦の個々の許可判断が限りなく甘くなるという突破口が開かれる。

日本国内におけるこの力関係は、二年半前にはまだ私たちに有利であった。一旦、日本への寄港を打診した軽空母が、核疑惑のために入港を断念した実例がある。

一九八三年、十二月九日、防衛庁はイギリス海軍の空母インビンシブルを旗艦とする機動部隊が翌年二月上旬に日本を訪問する予定であると発表した。ところが、当時、オーストラリアに寄港していたインビンシブルが核積載の疑惑があるとしてスコールズ豪国防相がシドニー海軍造船所のドック使用を拒否する自体が起った。そのことが日本のマスコミが大きく報ずるところとなり、国会論議がおこるとともに、神戸港

の入港拒否、原水禁、原水協、総評などの反対声明があいついで、ついに日本政府も「核抜き保証」を前提とした入港受け入れの方針を貫いたのである。最終的には十二月三日、イギリスは寄港を断念してこの問題は決着した。

日本の全体状況が悪化する中で、より国際的に責任の思い局面を、私たちはむかえようとしている。(三月二十九日記)

## 反核運動「女王陛下の核艦船」を止める

ドキュメント (訳・構成 編集部)

●85年12月18日 英国防省、海軍機動部隊の北太平洋、極東、オーストラリア(オーストラリアおよび周辺)及びインド洋への展開計画を公式発表。「グローバル86」と名付けられたこの計画に参加するのは以下の七隻である。軽空母イラストラシア(インビンシブル級)、支援艦フォートグランジ、オルメダ、ベイリフ、フリゲート艦ビーバー、駆逐艦マンチェスター、アマゾン(艦種不明)出

発は4月14日。寄港地など計画の詳細はかつて発表。「英海軍ニュース・リリーズNo.83」●85年12月22日 反核艦船連合(CNW)はこれら七隻のうちタンカーのベイリフを除いてすべてが核搭載可能であると発表した。搭載する核は対潜ヘリコプター用の核爆雷(すべて共通)およびシーハリアー・ジェット機用の核爆弾(イラストラシアのみ)である。その根拠として同連合が挙げているのは、81年英国防省算書およびジョン・ノット国防相のレポート(NATO REVIEW 81・4)である。さらに83年にインビンシブルがウエリントンに入港した際に乗組員による内部告発があったことも根拠の一つとされる。

●11月29日(ロンドン発) 英国防省スポークスマン、海軍のニュージーランド寄港について言明を避ける。「計画は現在策定中である。また同スポークスマンはニュージーランド政府の非核政策に失望の念を表明した。英国内報道関係者の間では「寄港はない」との憶測も。「イヴニング・ポスト」1/30「●3月29日 ロンギ首相香港で記者会見。「英艦隊の寄港は無い」「毎日 3/30」

3月30日付の毎日新聞によれば、ロンギ首相は香港で記者会見し「英艦隊の寄港は無い」と発表した。本文の趣旨は基本的には変わらないのでそのまま掲載する。ニュージーランド草の根反核の素早い動きによるすがすがしい勝利によって浮び上るのはこの日本。どうなるのか。いや、どうするのか。(編集部)

ている。同連合のスポークスマン、ニッキー・ハーガー氏は次のように語った。「ニュージーランド国民はいかなる国の民衆の訪問も歓迎するが、いかなる国からの核の持ち込みも許さない」(CNW ニュースリリーズ)

●86年1月29日 CNWが記者会見。ニッキー・ハーガー氏談。「英国政府は核艦船を今年7月から11月の間にニュージーランドに入港させようとしている。これはサッチャー政権がアメリカ政府と歩調を合せて非核政策を打破ろうと意図するものだ」「ニュージーランド政府に対する正式の要請は2月中旬に来訪するフィールドハウス海軍少将によって行われるものとみられる」

●11月29日(ロンドン発) 英国防省スポークスマン、海軍のニュージーランド寄港について言明を避ける。「計画は現在策定中である。また同スポークスマンはニュージーランド政府の非核政策に失望の念を表明した。英国内報道関係者の間では「寄港はない」との憶測も。「イヴニング・ポスト」1/30「●3月29日 ロンギ首相香港で記者会見。「英艦隊の寄港は無い」「毎日 3/30」

# 環太平洋合同演習 リムパック 86

リムパックの参加規模

	実施年月日	日数	艦艇	航空機	人員
第1回	71.11.8 ~ 11.22	15	?	?	?
第2回	72.9.5 ~ 9.14	10	?	?	?
第3回	73.9.11 ~ 9.21	11	23	200	1万4000
第4回	75.3.11 ~ 3.21	11	31	200	1万7000
第5回	77.2.17 ~ 3.11	23	38	225	2万0000
第6回	78.4.4 ~ 5.4	31	42	225	2万2000
第7回	80.2.26 ~ 3.18	22	41(2)	200(8)	2万0000(720)
第8回	82.3.22 ~ 4.29	39	62(3)	120(8)	2万9000(940)
第9回	84.5.15 ~ 6.29	46	80(5)	250(8)	5万0000(1400)

( ) 内は日本の参加数

「リムパック86」(84): 自衛隊/防衛省/海上自衛隊/航空自衛隊/陸上自衛隊

## 各地から...

京都発 3月2日、京都トマ連の主催による「日米韓実戦体制を撃つ」ビキニから32年、アジア太平洋民衆とともに「集会」。

三条ヶ原から丸山公園まで三十数名でデモ

呉発 3月30日、トマホークの配備を許すな！呉市民の会主催で「反核、反チームスピリット・ウォーキング」市内の広駅から弾薬庫前まで三十名が歩く。二千枚のチラシをまく。

○主催：米第三艦隊

○参加国：米、カナダ、オーストラリア、日本、英国（前回まではニュージーランドが参加）

○演習期間：5月18日から約45日間

○演習海域：ハワイ周辺（実際は千島やカムチャツカ半島のソ連基地に対する攻撃を擬しているものとみられる）

○参加規模：前回までは表のとおり。（今回はまだ不明）

○演習内容：ハワイを敵「オレンジ軍」が占領したため、「ブルー軍」が奪還に向かう。日本は水上艦艇、航空機は「ブルー軍」、潜水艦は「オレンジ軍」となる見込み。

○自衛隊の参加規模：新鋭護衛艦「しらね」五二〇〇トンなど8隻、搭載する対潜ヘリコプター8機からなる「八八艦隊」とP3C対潜哨戒機8機、および潜水艦1隻。

○核トマホーク使用を想定：前号で紹介した「ワトキンス論文」海洋戦略」と重あわせれば、この演習のすべての局面で核トマホークの使用が想定されているものとみて間違いない（構成 編集部）

首都圏発 「東京」3月1日「核のない太平洋をつくりだそう」反核太平洋の日 3・1集会（自主講座など四団体がよびかけ、首都圏運動の賛同による）に三百名が参加。「三多摩」3月2日三多摩実行委主催による「横田・立川反基地ツアー」同日、地区労主催の反チームスピリット集会。3月16日、チームスピリット86抗議第二波集会・デモに一一五名。3月21日、反トマ首都圏運動よびかけによるチームスピリット86抗議行動。一三五名でアメリカ大使館へデモ。「横須賀」3月31日、リムパック86への自衛隊参加中止をヨコスカ、反トマなど六団体よびかけで申入れ五十名でデモ。

# ベラウで 国民投票

自由連合  
= 米軍基地協定の

非核憲法の規定により  
75%に達せず「否決」

ベラウ（パラオ）で自由連合協定に米軍基地化協定をめぐり三度目の住民投票が、さる二月二十一日に行なわれた。ベラウ非核憲法では、住民投票で七五%以上の承認をえないかぎり原発を含む一切の核を拒否することが明記されており、これまで二度行なわれた自由連合協定の住民投票では、賛成が七五%に達せず、否決されてきた経過がある。

今回の投票結果は賛成七二%。非常に高い得票であるが、今回もまた非核憲法の規定にしたがって否決されたと見るべきである。

しかしベラウ政府は、過半数で承認されたと発表、一方の米国は、ベラウ政府が決めること

だとして追認する動きをみせている。

今回の自由連合協定では、「米国はパラオ領内において戦争に使用することを目的とした核兵器、化学兵器、ガス、生物兵器を使用、実験、貯蔵、あるいは廃棄しない」と、ベラウ憲法に抵触しないかのようになみせかけながら、それに つづけて「パラオ政府は、米政府がパラオ領内において核積載可能または原子力推進の艦船、航空機を運用する権利を持つことを認め、米国はそのような兵器の有無を肯定も否定もしなく てよい」と明記している。

まさに日本の非核三原則空洞化のやり方をそっくりベラウにおいて行なおうという条文である。米国にとって太平洋における核配備とは、いつてみれば核を積んだ艦船が自由に通過・寄港できることにあるわけで、日本式のやり口を使いながら、ベラウ非核憲法の骨抜きをねらったといえる。

今回の住民投票については、様々な問題が指摘できる。まず第一に、今回の住民投票は自由連合を承認するか否かについてだけであって、本来ならば信託統治後の政治地位として「独立」が当然選択の一つに入るべきこと。第二に、すでに述べた核に関する問題。当然のことながら七五%の承認が必要である。第三に、投票のやり方。協定文は英文で四〇〇ページにおよぶ難解な法律文書であるにもかかわらず、日程が決

てから投票日まで一ヶ月ないというスピード

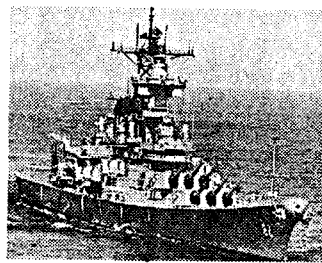
投票。しかも協定文が住民の手にわたったのは二週間前、ベラウ語訳が出たのは一週間前というありさまで、ベラウ政府は自由連合協定が核を拒否する内容に改正され、改善され、援助額も増大したと、テレビ、ラジオなどを使って大々的に宣伝、海軍基地や空軍基地、軍事演習場などによって土地が奪われることから目をそらせようとした。

これに対し、住民の反対運動は苦戦を強いられた。キャンペーンをするにも二週間前まで協定文が公表されず、機関が圧倒的に短かったからだ。しかし投票後、住民運動の反撃がはじまっている。憲法に従って七五%の承認が必要であることを確認するため、裁判に訴える動きが出ている。

荒川俊児（反核パシフィックセンター東京）



## 米戦艦ニュージャージー



8月、日本に寄港する米戦艦ニュージャージー＝AP

防衛庁は、米海軍が戦艦ニュージャージー（四五〇〇トン）を八月、長崎県・佐世保に寄港し、横須賀に寄港させる方針であることを明らかにした。非公式な通知ながら、米側は今回の寄港実現を強く希望しているという。実現すれば、同艦が巡航ミサイル・トマホークを装備し、現役復帰後、初の日本寄港となる。将来、同艦または同型艦の基地を日本に求め

るための布石ではないか、との見方が防衛庁内にもあるが、同日に近くなこともあり、核搭載可能性のある「核搭載艦」を必ずとらわれる。

ニュージャージーの日本寄港については、昨年夏ごろから非公式な打診があり、このほど、米側から「艦の運用スケジュールなどから、八月ごろに寄港させる」という意向が示された。対空、対潜艦を伴った水上打撃部隊を編成して来航するが、この中に、海上自衛隊も導入を計画している高性能対空システム「エイジス」を備えた新鋭タイコンデロガ級ミサイル巡洋艦の三番艦「センズ」(編號九、六〇〇)を含むとい

かし、日本寄港実現に寄せる米側の熱意や、イオウ級艦の配備計画をにらみ「日本に母港たは軍港を確保するための実績作りではないか」との見方が制服の専門家の中にもある。

# 8月、佐世保か横須賀へ核積載めぐり論議必至

## スクラップ情報

※地方版・地方紙にのった記事、とんとん迷って下エ (編集部)

「ニュージャージー」

3度目の報道

時期は8月!?

入港を許すまい!

## 私たちの反核太平洋宣言

私たちが太平洋の人々を目と見開いたのは、日本の核廃棄物海洋投棄計画に反対する運動のなかででした。そして太平洋の人々とのつながりをつく、ていくうちに私たちは、核のない太平洋をめざす彼らのために、私たちに、ても、全世界の人々に、ても、非常に重要なたたかいであるという認識を深めてきました。

太平洋の人々は、第二次大戦中に日米の戦争の戦場とされ犠牲を強いられ、戦後は大国による総計200回と越える核実験によ、核被害をうけ、さらに生みの基盤である海と島々を、軍事基地がひしめき核艦船がゆきかう、核戦略のせめぎあいの場に変えられてしま、たのです。太平洋の人々の反核の叫びには、とれら大国の暴挙に対する深い憤りがこめられています。

同時に、太平洋の人々の反核運動は、かのマゼラン平航以来、400年にもわた、る虐殺と収奪の限りをつくしてきた大国の植民地支配に終止符を打ち、独立と民族自決をからとろうとするたたかいと一体のものとなっています。植民地支配こそが、核支配を可能ならしめているからです。

いうまでもなく、本来日本の私たちもまた太平洋の一員であり、核のない太平洋をめざすことは、私たちの課題であるはずで。しかし、ヒロシマ・ナガサキを経験した核被害国である日本は、今や32基の原子力発電所を稼働させるにいたり、ウラン採掘や核廃棄物海洋投棄計画にみられるように、太平洋民衆に対して核の加害国になっているのです。さらに日本は、米国の核戦略に加担し、「シー・シー・防衛」や「環太平洋圏構想」などを掲げて太平洋への経済的・軍事的膨張をまかり、太平洋の人々のたたかひに、こうこう対立する存在になっています。

私たちはこうした状況を変えてゆかねばならないと思います。そしてその際、太平洋民衆の側からみると日本という国家のありようが、ま、ま、とみえてくる——この、太平洋の人々とのかかひのなかで学んだ視点と大切にしながら、私たちの反核太平洋運動をつく、てゆきたいと考えるのです。

太平洋の人々は、長い歴史のなかで海との共生文明を築いてきました。ミクロネシア連邦の憲法の前文にある「海はわれわれを分かちつたのではなく一つにしてくれる」という言葉には、海に支えられて生きてきた人々の思いが結晶しています。その言葉は同時に、自然と人間の収奪のうえに成りた、ている現代物質文明を告発し、さらにとれを越えていく人間的な解放にむけた生き方をも示唆しているのではないのでしょうか。

私たちは、核によ、る他者を抑圧しない、として抑圧を手も貸さない道を選びとろうと考えます。太平洋の人々とともに核のない太平洋をつくりだすこと——それが私たちの選ぶ道です。それは私たち自身と核から解放する道に他なりません。

力をあわせて、核のない太平洋をつくりだしていきましょう。

1986年3月1日 「核のない太平洋をつくりだそう 3・1東京集会」参加者一同

**南太平洋非核地帯条約を支持**  
 3/29(土) インドネシア大統領  
 3/29(土) ガルタ十八日時事  
 インドネシア訪問中のニュー  
 ジーランドのロンギ首相は十  
 八日、大統領府で約二時間  
 にわたりスハルト大統領と会  
 談した。  
 席上、ロンギ首相がニュー  
 ジーランド、オーストラリア  
 など南太平洋諸国十三カ国が  
 昨年八月締結した南太平洋非  
 核地帯条約について説明した  
 のに対し、スハルト大統領も  
 これを支持を表明した。

**●非核太平洋実現へ  
ロンギ首相の旅**



**91年以後は選択自由  
首相に 米基地で比大統領**

3/31(木) 米基地で比大統領  
 【マニラ三十日共同】特  
 派。フィリピン訪問中のロ  
 ンギ・ニュージールランド首相  
 は三十日、アキノ・フィリピン  
 大統領と会談した。ア  
 キノ大統領は自由と民主主義  
 のためのフィリピン人民のた  
 なかへのニュージールランド  
 の選択は自由であると強調し  
 た。



**核廃絶など  
意見を交換**  
 中国・NZ両首相  
 【北京二十七日共同】中華  
 人民共和国内閣副総理、中  
 国首相は二十七日北京で  
 ニュージールランドのロンギ  
 首相と会談し、両国の核兵器  
 政策などについて意見を交  
 換した。新華社によると、  
 首相は中国がニュージール  
 ランドの太平洋非核地帯化  
 政策を支持することを表明  
 した。中国は核兵器を保有  
 するが、中国は核兵器を  
 今後廃止する意向を決定し  
 たことを明らかにした。  
 これに際し、両首相は、核  
 兵器の廃絶を中国の立場を  
 踏まえ、中国の立場を踏ま  
 えること、宇宙の平和利  
 用、宇宙開発の推進を主  
 張した。

**独自の核政策提言**

3/31(木) NZ首相、アキノ政権に  
 【マニラ三十日共同】フィ  
 リピンを公式訪問中のニュー  
 ジーランドのロンギ首相は三  
 十日、マカニアン宮殿でア  
 キノ大統領と会談、両国の非  
 核政策について説明した。ア  
 キノ大統領は、フィリピンも  
 独自の軍事政策を提言した。  
 フィリピンは日本と同じく  
 核の持ち込みについて事前通  
 告制をとっているが、シヤハ  
 ニ外務次官が今月中旬、訪問  
 先のスウェーデンで、アキノ  
 首相が在米米基地での核  
 兵器貯蔵と核兵器輸送の  
 再開を要請する方針を表明  
 している。フィリピンは米  
 軍基地を他の地域へ移すと思  
 わない、と強調した。  
 これに対し、アキノ大統領  
 は「一九九一年まで有効の在  
 米米基地協定を尊重する  
 が、期限切れ後については方  
 針は未定」と述べた。

**スピック入港中止**

4/2(日) 米艦船、基地のストで  
 【マニラ二日共同】フィリ  
 ピンの民間テレビ・チャンネル  
 によると、スピック米艦  
 隊基地に二日到着する予定だ  
 った米艦隊の艦隊は二日  
 が、基地労働者のストのため  
 に入港を断念した。

**●米軍基地を  
フィリピン民衆が  
揺るがす!**

**長引く米基地スト  
既に9日 新政権に重荷**

【マニラ三十日共同】高野特派  
 員。フィリピンにある米軍基地  
 の労働者によるストが長期化  
 三十日で九日間になった。一  
 方、同国唯一の全国的回線網を  
 もつフィリピン長距離電話会社  
 (PLDT)マニラ地区労働組  
 織、アキノ政権誕生は直接関  
 係ないようだ。

と地元で、在米基地の  
 雇用を削減されたのは初め  
 だ。五隻は艦隊の修理、補給の  
 ほか約四千人の乗組員の休養  
 のため十五日間滞在する予定  
 だった。

いるのは、観光都市の中部  
 セブでは日本人の利便も最  
 高級ホテルがスト入りし、二十  
 九日以来、客を受け入れられな  
 くなった。労働者が賃上げなど  
 を求めてスト戦線に出たことは  
 今後さらに予想され、新政権は  
 労働者の権利擁護をたてき  
 ただけに、悩みの種となる兆し  
 も見えてきた。

**NZ首相の来日拒否**



3/28(土) 日本 反核運動活発化を警戒  
 【シドニー二十七日時事】  
 ニュージールランドの有力紙「オー  
 ストラリアン・フアンシナル」  
 ・「レベニュー」が東京特派員で報  
 じたところによると、現在中  
 国を訪問中のロンギ・ニュー  
 ジーランド首相は中国訪問の  
 間、日本に立ち寄り、日本と  
 計画していたが、日本政府に  
 拒否されたという。日本政府  
 が拒否した理由は、日本は  
 東京サミットを控え、外交日  
 程の調整がつかないというこ  
 とだった。実際は、衆参両  
 院の選挙の可能性も出てきて  
 る。ニュージールランドの反  
 核政策が野党躍進を助ける  
 ことを懸念したためだ、  
 と同紙は指摘している。  
 また同紙によると日本政府  
 は同じ理由から四月、五月の  
 間、日本に立ち寄り、日本と

**●中曽根は非核NZを警戒**

**「英軍艦も寄港せず」**

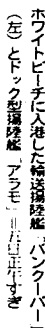
3/30(木) 核搭載懸念 NZ首相が言明  
 【香港二十九日共同】特派  
 員。ニュージールランドのロン  
 ギ首相は二十九日、一週間の  
 中国訪問を終えて次の訪問地  
 フィリピンへ向かう途中、香  
 港の空港で記者会見し「英  
 海軍がわが国への訪問計画を  
 取り消した」と述べた。  
 ニュージールランド政府は昨  
 年、核兵器搭載艦の寄港を  
 認めない政策を打ち出した。  
 一方、英海軍は核搭載の有  
 無を公表しない方針を取って  
 いる。英国の七隻の軍艦が目  
 下、太平洋海域を航行中だ  
 が、英海軍関係者は「ニュ  
 ージーランドへの寄港はロン  
 ギ政権の政策から不可能であ  
 り、寄港は求めない」とい  
 う。英国艦船は四年前に寄港  
 したことがあるが、核搭載に  
 むき港問題が表面化したのは  
 ニュージールランドに続いて二度目。  
 ロンギ首相は二十八日、北  
 京で中国の鄧小平、党中央  
 副書記・江青、中宣部副  
 長官・朱厚澤らと会談後、中  
 国は核搭載艦の寄港を認めない  
 であろう、と話している。

**「女王陛下の艦隊」も  
NZ反核の声に  
入港断念**

# 韓国向け兵員輸送へ

米韓合同軍事協定「チームスピリット86」に参加する米艦船が五日、ホワイトヒッチ、レッドヒッチ、那覇軍港へと続々入港を始めた。同訪問の主力隊となる在沖米海兵隊員や技術品の輸送作戦を展開するため、七日までには米第七艦隊の旗艦「ブルーリッチ」(二八、三七ノチ)もホワイトヒッチ

“軍事色” 日増しに濃厚

[illegible]

状を出しており、六月にもブルリッチとヘリ空母が入港するものとみられる。

- チーフスピリット 日本は前進基地

米韓が敵前上陸訓練  
【浦項・時事】米韓合同軍事演習「チームススピリット88」のヤマ場である敵前上陸訓練が十八日早朝、韓国東部の浦項市近くの海岸で実施された。敵に包囲された浦項市を救援し釜山に向かいつつある敵を分断するという想定。

弾薬トラック通るな／

呉市民の会が街頭PR  
が廿日、彌弼輪送路に当た  
る市内の国道、七五号線沿い  
で、配給なすの街頭活動を  
した。

- 呉の反基地「ウォーキング」

3/3, 讀亮(地方版)

に多き在日米軍の強襲は川上へ襲かば、野原が五万五千丁、広（秋田）一丁、田町、四万九千丁の三か所。今年だけでも、月十七日か三月六日の間、向、川上強襲船が広強襲艦へ、四国三七五号強襲を積んでラッタが走り、そののち三三五十丁の間に、三月二日五か三丁日ま、広島が海面制空され、米艦船に強襲が積み込まれた。

# 日米共同訓練に抗議

上富良野  
労組員ら1600人が集会

日本共同訓練が十六日(土)の上  
川市上宮山町の陸上自衛隊  
で、佐野野郎が始めた。こ  
れに対して同日、同町野郎一  
丁目の町並みラウンドで、二  
つて開かれた。  
午後一時半  
労務系の「日本共同訓練」  
翌日(日)全園集  
習会が、佐野野郎の組合員などによ

17日から終日訓練

【釜山】米岩國駐地十  
二日 岩國防務施設事務を  
通て岩國市に一飛行場の通  
用時間（午前四時半午後十  
一時）を七日から十七  
日までを開拓すると、通  
告た、米岩國駐地遊イ  
ムレリットに開通した後  
で三日間の二十四時閉鎖  
も含まれてゐる、市は同  
日、基地側に抗議すると  
ともに近く、米岩間に中  
止を申入れるとす、四段級  
飛行場の通用時間、二十  
日二十時合が午前五時  
から午前四時止、二十七  
日は午前五時半から十時  
止、三日間の二十四時閉  
鎖は種々の爲例で、市

は、市民生活に与へる影が大に」として、茶谷源一、基地対策指導員を基地建設に、ハトソン副司令官、中佐に抗議した。

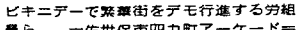
これに対し、ハ副司令官は「通関時間の長は中止せないと答へた。さらに、二十日及び二十七日までは、現在、留國で待ててゐる新留留置者チーフスリットに護衛の兵士機材を運ぶため、輸送機が飛来とされた。

今月六日朝には、同基地のシエッタ同機八機飛び立ち、市民からのがれ相次ぐこととあつて、市市の茶谷源一は百上獄し、十四日、外務省、防衛省、防衛庁に対し、文書で中止を甲入れた。また、今日の作戦が開始されれば、市組員の監視活動も對する方針である。

青島基地は、五十二年一月、同十月、五十七年二月も、それぞれ三回の二十四時間休むの作戦が実施された。

[illegible]

- あらゆる基地が  
動いている



500人の労組員ら参加  
佐世保でビキニデー集会

村正、藤盛、主権の三、一七  
キニー佐世保地区会」が、  
佐世保市、松浦公園で開か  
れ、約五百人の労働組合が参  
加した。

あいさつに立った吉村議長  
は「ワキニデーに合わせたか  
のよに原簿レマトが佐  
世保に飛来、一方で佐世保  
に海自第705隊の弾薬庫建設  
が計画されるなど、問題の状況  
は悪い。これらと打ち破る  
には全力投球で反政府と運動  
を闘わなければならない」と  
訴えた。次に、原簿入港抗議、  
海自針尾弾薬庫建設反対、非  
政府市針尾書院展覧会を内容と  
する宣言文を採択、アーケー  
ド街をデモ行進した。

米軍機が離発着

旭川空港  
3/8.

# 米軍機が離発着

先月の日米  
共同訓練

## 正規手続き踏まず

【旭川】 旭川市上川管内  
上富野町の陸自防衛隊は  
出富野防衛隊で行われた日  
米冬季合同実動訓練（国連  
下在日米陸軍駐屯地のヒ  
チクラフト機が前後六回に  
分飛来したのを皮切りに二  
十三、二十四、二十五日の  
四日間、旭川・上富野空  
港に空軍用機を集中させて  
に乗り入れた。市街は「一  
民間空母であり、留まらな  
い」が、日米友好条約に  
基づく地位協定を利用して  
起められており、法的には  
阻止できなかった（「新出  
川町史」としてあるが、旭  
川市議会）の社会教育委員  
は「民間空母」の呼称に異  
議を往復したとみられ、

旭川市によると、旭川空  
港の米軍機の乗り入れは  
四十二年から五十九年ま  
じ七であるが、昨年（二二）  
は上富野防衛隊で行われ  
た共同訓練の際には特に  
米軍機の乗り入れはなかつ  
たという。

旭川の乗り入れを通じて  
は陸上自衛隊第二師団（旭  
川）が二月二日、旭川市  
に対して「米軍機が今後  
定期的に」を伝え、旭川市  
は「必要に応じて」飛行計  
画が提出され、旭川空軍管  
理所に伝えられているとい

官を考えた上での、お知  
りであり、市側通告で  
はない」としている。  
また、同市空軍管理処長  
は「航空機の離陸はた  
ってはあらかじめ市長に相  
け出ることになっており、  
自衛隊機が乗り入れる場  
合も正規の手続きをしている  
が、今回の米軍機の飛来で  
は米軍機は市に知らせず  
に、自衛隊機は市に通告  
して新出防衛隊は米軍機が通  
るのを待たせ、飛行計画  
書が提出され、旭川空軍管  
理所に伝えられているとい

「通告とみなす」としてい

米原潜とし初入港

ホ-ク原潜  
しかも3.11

「佐世保」原子的力船のロシヤ  
ルズ紋章旗を原子力船のロシヤ  
レマントン(〇〇〇)艦長  
A・R・ヒム中佐、乗組員  
百十人(去年三月一キニテ  
一日正午前、佐世保港に  
初入港した。アレマトンは核  
付き巡視ミサイル・トホー  
ク搭載予定艦。米原潜の佐世  
保寄港は二初初也。

アレマトンは午前十一時す  
ぎ、佐世保海上保安部の巡視  
船第六隻に迎まれるやうにし  
て佐世保港に入り、港内の三  
十五号浮ドに係留した。入港  
目的はこれまでも同様(乗組  
員の休養、補給、維持として  
いる。出港日は未明)

アレマトンはこゝ一月五  
日から十三日まで横須賀に入  
港している。米原潜の佐世保  
寄港は、昨年十一月十五日の

核トホーク搭載可能艦ナ  
タド(二六四)以来で通  
初二十七番目。ロシアゼルス  
級では昨年七月十九日に新港  
した同型のサンフランシスコ  
(二六〇〇〇)に次いで二隻  
目

● 吳にトマホーク原潜

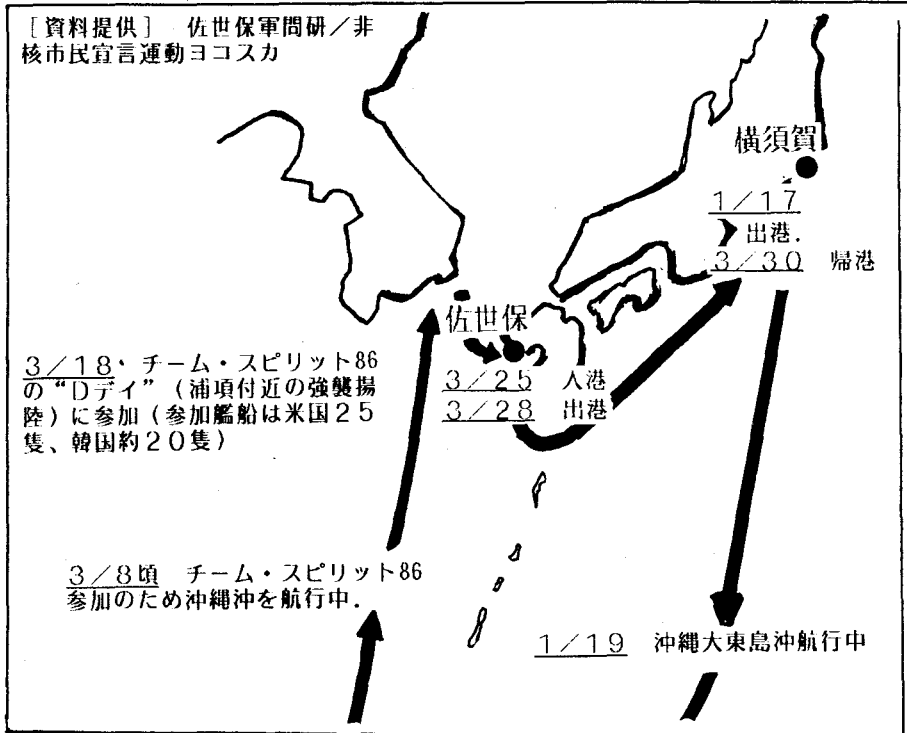
港している。米原潜の佐世保寄港は、昨年十一月十五日の



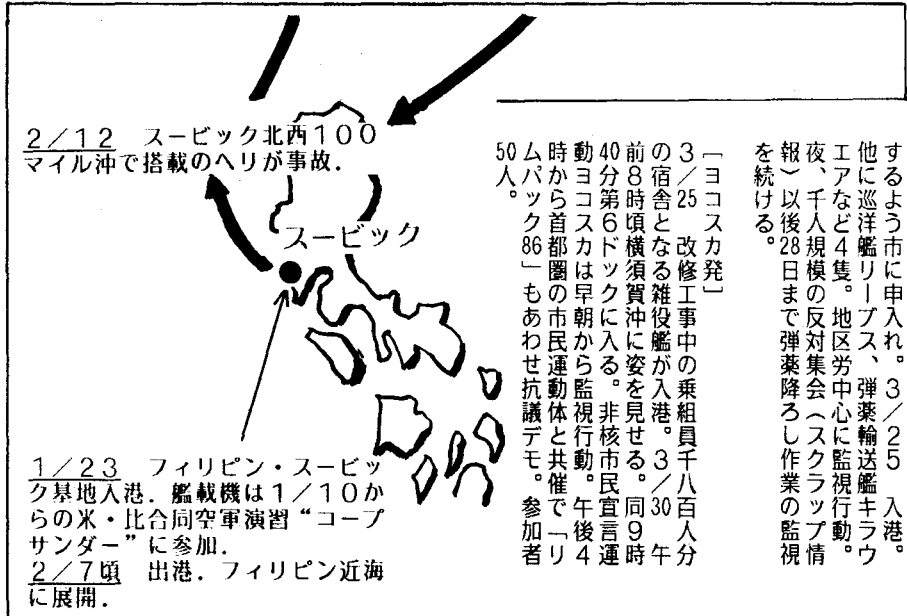








フィリピン・韓国への軍事介入の航海から母港ヨコスカへ帰った核搭載空母を待つのは艦載機強化のための六か月の大改装。積んでいた核は今どこに？



# 空母ミッドウェイの航跡

86年1月～3月

「リセボ発」  
3/19 核艦船寄港阻止現闘本部(地区労など)市長に反対の申入れ。24日には事前学習会。3/24 横須賀での改装に備えて弾薬を降ろすとの情報。現闘本部、核の有無と搬入弾薬の種類を明らかにするよう市に申入れ。3/25 入港。他に巡洋艦リプス、弾薬輸送艦キラウエアなど4隻。地区労中心に監視行動。夜、千人規模の反対集会(スクラップ情報)以後28日まで弾薬降ろし作業の監視を続ける。

「ヨコスカ発」  
3/25 改装工事中の乗組員千八百人分の宿舎となる雑役艦が入港。3/30 午前8時頃横須賀沖に姿を見せる。同9時40分第6ドックに入る。非核市民宣言運動ヨコスカは早朝から監視行動。午後4時から首都圏の市民運動体と共催で「リムパック86」もあわせ抗議デモ。参加者50人。

## ソウル大生からも反チームスピリットの声が!!

「北」と同じ主張の2学生手配  
ソウル大自治組織会長選で

ソウル市七日、ソウル大学 同大自治組織(四年、金知寛の学生自治組織「緑生会」)の 君(三)と同大専攻科四年、金知寛(金知寛に立候補)と、朝鮮民権擁護会(三)の一人を代表して、主催人民共和国(北朝鮮)と、法廷の疑いで指し配した。

韓国学生が、北朝鮮との主張を公然と示すのは極めて異例のこと。

調へに、金君はソウル大の総学生会(金知寛)に立候補を表明した。

補い、この日行われた選挙運動にあたり、公約を述べた。ソウル市七日、ソウル大学 同大自治組織(四年、金知寛の学生自治組織「緑生会」)の 君(三)と同大専攻科四年、金知寛(金知寛に立候補)と、朝鮮民権擁護会(三)の一人を代表して、主催人民共和国(北朝鮮)と、法廷の疑いで指し配した。

韓国学生が、北朝鮮との主張を公然と示すのは極めて異例のこと。

調へに、金君はソウル大の総学生会(金知寛)に立候補を表明した。

3. 20~21 アトミックカ  
フェ深夜営業/反チーム  
スピリット集会に(東京)

## 各国からメッセージ

反トマホーク・アジア太平洋運動・国際コーディネーター  
ネルソン・フォスター

日本の友人のみなさん  
反トマホーク・アジア太平洋運動は、昨年の12月にフィリピンのオロンガポで運営会議をひらきました。オロンガポは、米国の海外最大の基地スービック海軍基地のある街です。

私たちは日本のみなさんが、当初果たしたこの運動への先導的な役割を評価します。日本がニュージーランドのように核艦船の入港を拒否するならば、それは世界の反核運動に限りなく貢献するでしょう。

今年六月、私たちは、二度目の世界同時行動を予定していますが、日本では、六月二九日に横須賀に集まろうと話合っておられると聞きます。この六月二九日、横須賀に一人でも多くの方々が参加され、海を通して世界のみなさんの基金運動への御協力を感謝します。

三月一日 ホノルルにて

ニュージーランド・反トマホーク・キャンペーン代表  
ボーリン・サーストン

ニュージーランドの海にのびやかなる核艦船も入ることが出来なくなると、もう一年以上経ちました。

この期間、アメリカやフランスなど私たちが多くの友人たちの政府が私たちを脅迫し続けてきました。

しかし、世界中で、あなた方のような人々が私たちを支え、私たちの歩み出した小さな一歩に大きな勇気を得ていることを知って、私たちは確固として抵抗してきました。

私たちの非核の立場は、国際平和年である今年の年末までは法律にはなりません。

私たちは日本の非核政策から多くを学びました。そして、今後とも、私たちは核チェックを要求し続けてゆきましょう。私たちは、いつの日か、日本の政府も、核チェックを要求するようになることを期待しています。あなた方への「小さな一歩」が、私たちにとって大切なのです。

連帯をこめて、そして、昨年の暖かい

マルコス政権をついに打倒したフィリピンから日本の友人にメッセージを送ります。

非核フィリピン連合は、米韓軍事演習「チームスピリット86」に反対する行動に立ち上っており、トマホークの配備を許さず、全国運動のみなさんに敬意を表します。

あなた方の運動とちょうど同じように、非核フィリピン連合は、世界中のあらゆる形の軍事演習に反対しています。私たちは平和を求め、軍事同盟や演習や外国軍事基地やあらゆる種類の兵器に反対します。私たちはあらゆる国民が彼らの武器をハンマーと鎌に変えたいとき、はじめて平和が達成されるものと信じています。人間の歴史のなかで、今ほどの種の平和が切望される時代はありません。

私たちは、チームスピリット86に抗議する「トマホークの配備を許さず、全国運動」が日本人の支持を呼び起こすのに成功することを希望するものです。

トマ喰い虫社のみなさん、そして日本のすべてのみなさん、人民の勝利万歳!!

三月一日 平和への連帯をこめて

非核フィリピン連合事務局長  
エルモ・マナバット

# 各地の—— ——行動予定

＊首都圏 4月下旬にリムパック  
参加各国大使館に申入れ。横須賀  
から出港する自衛隊に抗議行動。  
5/8 演習開始日にデモ。6/8  
上瀬谷で反基地集会(ウドの会)  
6/29は横須賀へ! ＊呉 5/  
5 岩国の反基地運動と合同セミナ  
ー。 ＊愛知 5/24、25 依佐美  
通信基地反対行動 ＊京都 依佐  
美の行動を集約点に日本海側の反  
核キャラバン(約1週間)

## 今月の会計報告 (3/15)

(収入)

- 会費

- 招待・参加: ¥9,800-

- 通信会費: ¥14,000-

- 下次宣言署名: ¥3,900-

- カン110: ¥15,800-

- 資料売上げ: ¥6,600-

- パンフ等売上げ: ¥1,300-

- 196日通信費: ¥4,124-

- 2%5日: ¥22,364-

合計: ¥439,188-

(支出)

- 家賃(3月): ¥50,000-

- 印刷代: ¥44,000-

- エレ等事務費: ¥13,380-

- 実行委員会費: ¥8,000-

- 切手(宅急便): ¥75,360-

- 電話代: ¥33,690-

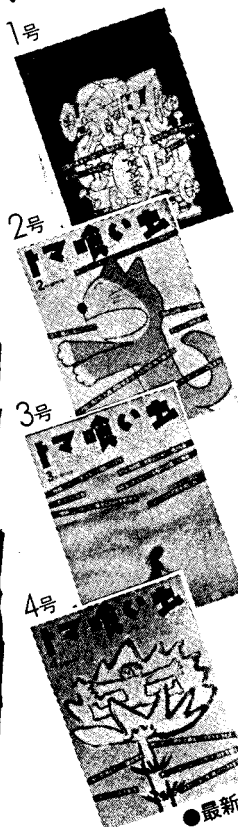
- 事務用品代: ¥5,700-

- 租費: ¥4,880-

- 翌月へ繰越し: ¥193,178-

合計: ¥439,188-

comment: 先月の会計へ先月より繰り越しを  
計上するを忘れました。  
今月に計上して処理しております。

みんな  
読むね!

こんな虫  
みつけた。

「トマ喰い虫」

B5判32ページ  
250円(号のみ200円)

トマホーク搭載艦が入港したら  
ハガキ、電報、電話で抗議・要請を

### ■マンズフィールド駐日米大使

東京都港区赤坂 1-10 米国大使館

03(583)7141

### ■安倍晋太郎外務大臣

東京都千代田区霞ヶ関 2-2 外務省

03(580)3311

### ■長洲一二神奈川県知事

横浜市中区日本大通り 1 神奈川県庁

045(201)1111

### ■横山和夫横須賀市長

横須賀市小川町 11 横須賀市役所

0468(22)4000

●郵便振替 東京6-136148  
(口座名 トマホークの配備を許すな/首都圏運動)